

3 研究のまとめ

(1) 研究の成果

アンケート結果から分かるように、回答していただいた方のうち約64%が講座で研修したことを学校現場で実践してくださいました。これは講座の中で、①「人権が尊重される授業づくりの視点例」を示すとともに「人権が尊重される授業づくりチェックリスト」を用いて受講者自身のこれまでの授業を振り返っていただいたこと、②視点ごとに点数化して不十分だった部分を高めるためのレシピ集により、具体的な方策を提示したこと、③現場で実践された学習指導案例を提示し、これを参考にしてそれぞれの指導案を作成していただくという演習を行ったことが効果的であったためと考えられます。また、文部科学省が「第三次とりまとめ」で示している「人権が尊重される授業づくりの視点例」の3つの視点(アンケートの記述に見られる_____線部①～③：①自己存在感②「共感的人間関係」③「自己選択・決定の場」)が、実践された授業の中で見られたことや、先生方が授業を通して、子供たちの様子から手ごたえを感じ、「人権教育の視点を取り入れた授業」の良さを実感して、次へのモチベーションにつなげてくださったことも大きな成果だと思います。

(2) 今後の課題

「人権教育の視点を取り入れた授業」の良さを感じつつも、事前の準備や授業そのものに時間が掛かってしまうという記述がありました。この点が全員の実践につながらなかった一番の原因だと思います。また、受講者の中には「人権教育の視点を取り入れた授業」について、人権に関する知識を学ぶ「人権学習」と間違えて捉えている方もいらっしゃいました。それから、中学校、高校と学校段階が上がるにしたがって、実践につながらなかった先生の数が多くなりました。今回の研究結果を踏まえ、来年度の講座では更に丁寧に提案することはもちろんですが、「人権教育の視点を取り入れた授業」における子供たちや授業の様子、集団の変容等をお示しし、準備に多少時間は掛かっても実践しようという意欲につなげていただくようにしたいと思います。